Faculty of Economics

経済学部

現代経済科目群（クラスター）	グローバル地域経済科目群（クラスター）	経済理論・統計学科目群（クラスター）	SUCCEED (English Medium Program)

学びの特色

持続可能な開発目標（SDGs）に経済学を活用して貢献

貧困や環境問題、雇用、福祉、金融、農業、などを経済学の視点で幅広く学びます。経済学の視点から復興支援活動も行います。

英語で経済学を学ぶインターナショナル・プログラム（IP）

英語で経済学を学び、グローバルな経済社会に貢献するリーダーを育成し、高度な英語力と課題解決力を養います。

経済学に必要な数学を、基礎から高度な数的運用までレベル別に丁寧に指導

高校までの数学の復習と経済学に必要な知識から高度な経済理論や実践的なリサーチ方法まで、少人数制で丁寧に指導します。

資格・進路

■ 関連資格・試験

国家公務員、地方公務員、社会教育主事、公認会計士試験、税理士試験、外務省専門職員採用試験（外交官）

■ 主な就職先（2014～2017年度実績）

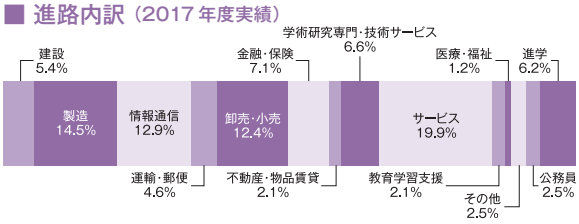
（企業）

アクセンチュア、アビームコンサルティング、伊藤忠テクノソリューションズ、鹿島建設、ゴールドマン・サックス証券、日本アイ・ビー・エム、日本マイクロソフト、パナソニック、日立製作所、ANAホールディングス、エヌ・ティ・ティデータ、みずほフィナンシャルグループ、ファーストリテイリング その他

（大学院）

創価大学大学院、東京大学大学院、東北大学大学院、一橋大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、デューク大学大学院（アメリカ）、ブリティッシュ・コロンビア大学大学院（カナダ）　ほか多数

■ 進路内訳（2017年度実績）



ACCESS TO WEB SITE

経済学部ホームページでは、学生の活躍の様子、卒業生の活躍の様子、学部独自の取組み、教員の研究成果などを随時更新しています。

STORY OF DISCOVERY

リーダーシップとはなにか ゼミの活動が、私を強くしてくれた

先輩

日本アイ・ビー・エム株式会社

洲崎 千恵　経済学科 2019 年卒業

ゼミで後輩の成長を目の当たりにした

大槻君が、ゼミ合宿の進行を任されていたときのことです。どうすれば円滑に進められるのか。どうすれば参加者がいい気づきを得られるのか。彼は最後まであきらめずに考え抜いていました。あんなに内気だった彼が、リーダーとして立派に成長していたんです。真面目で几帳面、計画を立てるのが上手で、実行力があるところ。そんな強みがどう花開くのか。大槻君の成長が楽しみです。

経済学科4年生

大槻 正義　京都府／京都市立西京高校

チームってむずかしい、チームっておもしろい

以前、ゼミの同期全員で論文大会に挑戦したことがあるんです。当然、13人という集団のなかでは、積極的に発言できないメンバーも出てきます。そんなときは個別で意見を聞いたりして、全員が活動に参加できるようにしていきました。ひとつのものを、みんなでつくりあげる。そこには難しさもありますが、楽しさもあります。リーダーシップとはなにか。この経験が、私を少しだけ強くしてくれました。

教授

浅井 学

様々な出会いを通じて、たくましく成長してほしい

大槻君には一人で悩みを抱えてしまうというクセがありました。それが最近では、まわりの友だちに相談するなど自ら一歩を踏み出すようになったのです。“やると決めたら、強気で行動できる”という大胆なところも彼の持ち味。そんな長所がさらに伸びるように、同じく芯の強い先輩を紹介したこともあります。これからも様々な出会いを通じて、さらにたくましく成長していってほしいと思っています。

4年間の学びの流れ

1年次		2年次		3年次		4年次	
グローバルスタンダードな経済理論の入門を学びます。		自分の興味に応じて、ゼミや科目群を選択できます。		さまざまな社会問題に取り組む経済学を学習します。3年次に海外に飛び立つ人もたくさんいます。		仲間たちと励ましあって、就職活動。学生生活の総仕上げとして、卒業論文作成に取り組みます。	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
ミクロ経済学 経済数学入門	マクロ経済学 経済と歴史 社会貢献と経済学	ミクロ経済学中級 基礎統計学 簿記入門 金融論	マクロ経済学中級 開発と貧困の経済学 財政学	日本経済論 国際経済論	計量経済学 環境経済論 人間主義経済学	ファイナンス論	ミクロ経済学上級 マクロ経済学上級 労働経済論

CHECK
「経済数学入門」は習熟度に応じた授業編成。数学を基礎から学びたい人も、友人たちと楽しく勉強できます。

科目群（クラスター）選択

CHECK
ゼミ対抗研究発表大会では、具体的な社会問題の解決策を競う熱い戦いが繰り広げられます。

ゼミ選択 | ゼミ | ゼミ対抗研究発表大会 | 卒業論文作成

インターナショナル・プログラム（IP）
入門レベルの経済学を英語で学び、実践的英語力を徹底的に鍛えます。
IP生は、時間割の半分は、英語による授業になります。

SUCCEED Courses
世界から集まった留学生と共に、
英語で経済学の専門科目を学びます。

HOPE (Honors Program in Economics)
グローバルな経済社会に貢献できるリーダーを育成するための特別プログラムです。

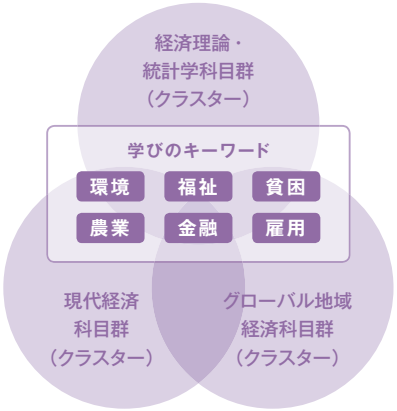
※HOPEの詳しい情報はこちらのホームページでご確認ください。

CHECK
留学生は、授業中の発言も積極的。インターナショナル・プログラム（IP）で鍛えた英語力を使って日本人学生もディスカッションをします。

2年次から選択する3つの科目群（クラスター）

科目群（クラスター）とは、特定分野・領域を重点的かつ系統的に学ぶために構成した科目群のことで、興味のある分野を幅広く学ぶことができます。

経済学部では、環境、福祉、貧困、農業、金融、雇用などの社会的に関心の高いテーマを、3つの科目群（クラスター）からアプローチし、課題解決のための手法を学びます。特定の科目を学ぶのではなく、複数の科目から幅広い視野でテーマに取り組むため、より深い理解と、より高度な分析力を身につけることができます。



●現代経済科目群（クラスター）

●グローバル地域経済科目群（クラスター）

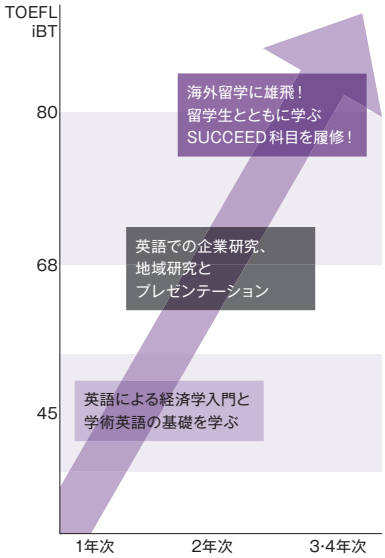
●経済理論・統計学科目群（クラスター）

経済学部独自のプログラム

インターナショナル・プログラム（IP）

英語を母国語としない学生を対象にした、英語圏での高等教育レベルの英語力を集中して習得するプログラムです。

インターナショナル・プログラム（IP）では1年次に学術的な英語能力、ディスカッション能力と入門レベルの経済学を身につけ、2年次には企業分析や世界各国のマクロ経済分析を通して英語によるリサーチペーパーの作成、プレゼンテーションを行います。授業は全て英語で行いますが、学生の英語レベルに合わせた少人数によるクラス編成できめ細やかな指導を行います。IPを修了した多くの学生が交換・派遣留学試験に合格し、卒業後もさまざまな分野で英語コミュニケーション能力を駆使して活躍しています。



グローバル人材育成のための多彩な機会

●2つのアメリカ研修※〈インターナショナル・プログラム(IP) 履修生対象〉

カリフォルニアとハワイでグローバル研修。

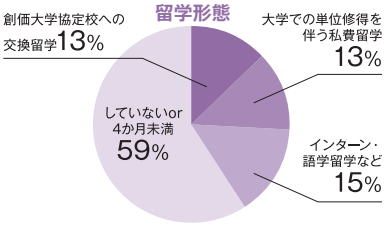
出発前には20時間以上の英語による事前研修を受講し、訪問先の経済状況や企業を取り巻く環境などについて調査し、プレゼンテーションを行います。現地では大学や現地企業、日系企業を訪問し、各国の経済状況やビジネス環境についての「今」も学び、グローバルな視点を養います。

※研修内容は変更される場合があります。

●4人に1人が海外大学で単位を修得

英語「を」学ぶのではなく、英語「で」学ぶ。

経済学部生の32%が8か月以上の海外留学を体験します。さらに、26%の学生は海外の大学で、現地学生と一緒に授業を受け、単位を修得しています。IPで養った英語力は世界の大学へのパスポートです。



●SUCCEED Program

Soka University Courses for Comprehensive Economics Education

経済学部の全ての専門科目を英語で学ぶプログラム。世界から集まった留学生とともに学びます。

経済学部では他学部に先駆け2015年よりEnglish Medium Programsをスタートしました。海外の大学からの客員教員による専門科目も提供され、SUCCEEDプログラムの学生だけでなく交流大学からの短期、長期交換留学生も多く履修します。英語を母国語としない学生でもIPの履修などを通して一定の語学力を満たすことで履修が可能です。留学しない学生にとってはまさに国内留学の場となり、派遣・交換留学をめざす学生にとっては留学先での経済学の授業の準備となります。

SUCCEED 科目の学生

アメリカ、イギリス、イスラエル、シンガポール、フィリピン、中国、ネパール、ガーナなど、世界中から集まった留学生と学びます。

経済学部独自のカリキュラム・プログラム

一人ひとりに合った丁寧な数学教育

安心して経済学部での学びをスタート。
社会で求められている論理的な思考力を養います。

「高校では数学Ⅰ、数学Ａしか学んでいない」という新入生が、毎年一定数います。数学に不安を覚えている方でも安心して経済学を学ぶ準備を整えられるように、経済学部では1年次に「経済数学入門」を開講しています。この科目は3つのレベルに分かれ、高校までの数学の復習と経済学に必要な知識を学ぶことができます。経験豊かな教員が懇切丁寧に皆さんをサポートします。

「経済数学入門」３つのレベル分け

難易度	科目名	主な内容
難	経済数学入門Ｂ（担当：増井）	①多変数関数の微分 ②最適化問題 など
	経済数学入門Ａ（担当：碓井）	①一次関数と直線 ②連立一次方程式 ③二次関数と放物線 ④指数・対数 ⑤一変数関数の微分 ⑥数列 など
易	経済数学入門Ａ（担当：小林）	

Point 1 経済学部での学びが、社会人としての大きな武器に。

数学を学ぶことにより、物事を筋道立てて深く考える力（論理的思考力）が鍛えられます。問題解決のために必要不可欠な力です。経済学部では数学に触れる機会が多く、重要な論理的思考力を身につけるトレーニングになります。

Point 2 より高度な経済理論や実践的なリサーチ方法も学べます。

ミクロ経済学、マクロ経済学の中級･上級レベル、データ分析の手法を学ぶ「データ･サイエンス」「計量経済学」など、数学の知識が役に立つ科目を学ぶことができます。また、選抜プログラムHOPEでは、少人数ゼミでより高度な経済理論や実践的なリサーチ方法を学べます。

産学連携講座を中心に インターンシップなどが充実

経済学と社会貢献の関係性を産学連携講座で学び、
インターンシップ、ボランティアなどで人間力の向上をめざします。

社会に貢献する人材を育成する、産学連携講座「社会貢献と経済学」を開講しています。東北の復興をテーマに、被災地やさまざまな業界から講師を招き、さらに卒業生を招いて被災地の現状を学ぶとともに、自身ができる社会貢献について多角的に学びます。授業の最終日は、産業界の方々の前で、グループごとに復興プランを発表します。また、東北におけるインターンシップやボランティアツアーを実施し、自主的な行動のチャンスを提供しています。

長谷部秀孝 教授

南三陸ホテル観洋女将　阿部憲子氏

ソーシャルプランニング 竹井善昭氏

フジテレビ 森山俊輔氏

復興応援団 佐野哲史氏

テラ・ルネッサンス 栗田佳典氏

＊2016年度に担当した講師より

インターンシップ

JTBと連携し、宮城県南三陸町の「南三陸ホテル観洋」にて、復興支援の意義と学生の人間的な成長を高める意義を込めたインターンシップを実施します。

ボランティア

東北の被災地において、農業支援ボランティアや現地の方々との勉強会などを含むスタディツアーを実施し、さまざまな自主的な行動への契機となっています。

Pick up 開講科目

貧困の問題　貧しい国がなかなか豊かになれないのはどうして？

開発と貧困の経済学　高木教授

貧しいとは人間として「価値ある生活」を実現できないことです。「価値ある生活」の実現には食糧、医療、教育などの生活必需品を支給する必要があります。必需品の生産には資本、技術、有能な人材、公正な政府が必要です。そのような条件を充たせる国は少ないのです。人間らしい生活を実現できる私たちには、さまざまな境遇に置かれている人々が豊かに過ごせるようにする力と責任があります。

環境の問題　どうすれば再生可能エネルギーもっと普及させられる？

環境経済論　碓井教授

再生エネルギーを使った方が得になる仕組みを作ることが効果的です。たとえば、家庭に設置する太陽光パネルは高価なものですが、作られた電力のうち自宅で消費しない部分を売ることで、利益が得られます。この売却時の価格が高くなるように助成するか、化石燃料由来の電力価格が高くなるよう課税することで、再生エネルギーを導入しようという動機が強まります。

金融の問題　なぜ株に投資するの？

ファイナンス論　浅井教授

株式を保有する主な目的は、配当金と売却益です。企業が利益を上げれば、株主は配当金を受け取ることができます。また、ある会社の株式を安いときに買い、高いときに売れば、利益を得ることができます。最近は、「環境・社会・ガバナンス」に注力する企業への投資（ESG投資）が増えてきて、持続可能な社会の実現に向けた企業の取り組みに注目が集まっています。

雇用の問題　人工知能が発達すると私たちの雇用は奪われてしまう？

労働経済論　増井准教授

AI（人工知能）の進歩により代替される職種が存在するのは間違いありませんが、技術進歩が新たに雇用を創出する側面もあります。過去の技術革新が雇用にもたらした影響と、AIの進歩が今後もたらす影響はどこが違うのか。経済学を用いてその違いを読み解き、人間とAIが共存していくにはどうしたらよいか、考えてみませんか？

インタビュー

夢が現実の目標になった

荻田 法子　2年生　経済学科IP・HOPE生　東京都／私立創価高校

世界を舞台に活躍したい。そんな思いを持って、経済学部に入学しました。英語で経済学を学んだり、留学に挑戦したり。そんな学生生活を送るなかで、最近では夢を“現実”のものとして捉えるようになりました。私の将来の目標は、開発途上国の貧困問題を解決すること。学校建設などを通じて、世界中の人々に貢献していきたいと思っています。

私のオススメホームページ

創価大学経済部が東洋経済ONLINEで紹介されました！